



▲段飾りのひな人形を眺める子どもたち

色鮮やかなひな人形を楽しむ

ひな人形展

2月5日から3月3日まで、下津浦地区振興会主催の「ひな人形展」が有明町の同地区コミュニティセンター・迫分館で開かれています。同振興会が、子どもたちの健やかな成長を願って毎年行っているもの。地元住民が寄贈した段飾りやつるしびななどの色鮮やかなひな人形110体が展示されています。2月5日に訪れた地元の子供たちは、「とてもかわいい」と話していました。

思いおもいのペースで走る

天草ロードレース大会

今回で20回目を迎える「天草ロードレース大会」が2月1日、新和町の平公民館をスタート・市新和支所をフィニッシュとする1.5・3・5・10kmのコースで開かれ、市内外から361人が参加しました。10kmのコースには、県内外の高校から有力選手が出場し、白熱したレースを展開。1.5kmのコースでは、親子が手をつないで仲良く走る姿が見られるなど、参加者たちは思いおもいのペースで走っていました。



▲元気よくスタートする参加者たち

無病息災を願って

子ども節分会

2月3日、天草町高浜の隣峰寺で無病息災を願う「子ども節分会」が開かれ、80人が参加しました。平成元年から行われているもので、豆まきや絵本の読み聞かせのほか、厄払いの“大数珠回し”を実施。参加者は、円になって長さ10mの大数珠を持ち、住職がたく太鼓の音に合わせて数珠を回しながら念仏を唱えました。数珠の中にはお菓子がもらえる「当たり」の玉が設けてあり、太鼓の音が止まった瞬間に、「当たり」を握った子どもから歓声があがっていました。



▲大数珠回しをする参加者

ラグビーを楽しもう！

出前授業タグラグビー教室

1月14日、「出前授業タグラグビー教室」が倉岳小学校グラウンドで開かれ、同校の3・4年生48人が参加しました。タグラグビーはラグビーの一種で、腰につけた鉢巻のような“タグ”を取ることがタックルの代わりとなり、危険度が少なく子どもでも楽しめる競技です。日本ラグビーの最高峰リーグ“トップリーグ”で活躍した立川大介さん（本渡町広瀬）と松尾健さん（河浦町河浦）が、ルールの説明やパスの仕方などを指導。その後、試合が実施され、児童は歓声をあげながら楽しそうに取り組んでいました。



▲立川さんの指導を受けながら試合をする児童たち

おいしい高菜漬けになりますように

地元住民で協力して高菜漬け

2月11日、御所浦町横浦島の与一ヶ浦港で、地元住民15人が集まり高菜漬けづくりを行いました。同島の与一ヶ浦地区では十数年前から、毎年1～2月にかけて自家用の高菜漬けを住民たちが共同で製造。高菜を海水で洗って漬けるのが特徴です。

この日は100kgを超える高菜が用意され、住民たちは海水で洗い、漬物樽に漬ける作業を実施。「みんなで協力すると楽しいです。今年もおいしい高菜漬けになりますように」と話していました。



▲高菜を海水で洗う住民

“藻場”の再生について考えよう

天草里海づくり報告会

市では、魚介類の産卵や稚魚が育つ場となる“藻場”の再生や豊かな漁場づくりについて考えてもらおうと2月14日、「第1回天草里海づくり報告会」を牛深総合センターで開催し、漁業者など300人が参加しました。

寺田竜太・鹿児島大学水産学部准教授が、天草の海の現況と課題について講演。その後、市内の漁業者グループによる藻場再生の取り組みや、海藻を食べるアイゴ（ヤノイオ）の消費促進などに関する事例発表が行われ、参加者は熱心に聞き入っていました。



▲講演を行う寺田准教授